

* 初級簿記

【第18回】全経簿記対策（Ⅱ）

2013/06/17

* 前回冒頭に説明した通り、級の説明が間違っていました。

* 全経2級 → 日商準2級レベル（日商2級商簿が範囲に入る）
⇒ 合格で中間試験（Ⅰ）（Ⅱ）100点修正

* 全経3級 → 日商準3級レベル（日商3級の一部が範囲外）
⇒ 合格で中間試験（Ⅰ）（Ⅱ）80点修正

* 全経4級 → 中間試験（Ⅰ）レベル
⇒ 合格で中間試験（Ⅰ）（Ⅱ）60点修正

* 受験する級のアンケートに答えていない方は、本日アンケートに答えてください。受験票は私が修正しておきます。

* 受験料を払い過ぎた方には返金します。

* 受験料を払っていない方は、授業最後に支払ってください。

* 全経簿記検定の申込について

* 売上商品の返品

* 売上げた商品が返品される場合、売上を減らします。

* 以前、掛けで売上げた商品が品違いであったため、商品300円分が返品された。

* (借) 売上 300 (貸) 売掛金 300

* 売上商品の値引

* 売上げた商品について値引きした場合、売上を減らします。

* 以前、掛けで売上げた商品に不良品があったので、300円の値引をした。

* (借) 売上 300 (貸) 売掛金 300

*** 商品売買 (値引 : 返品)**

* 仕入諸掛

* 仕入諸掛とは、仕入の際に要した付随費用（引取運賃、保険料など）であり、**仕入の金額に含めて処理します。**

* 商品1,000円を掛けて仕入れ、引取運賃500円は現金で支払った。

* (借) 仕入	1,500	(貸) 買掛金	1,000
		現金	500

* 売上諸掛

* 売上諸掛とは、売上の際に要した付随費用（発送費、保険料など）であり、**当該勘定（発送費勘定など）を別に設定して処理します。**

* 商品1,000円を掛けて売上げ、発送費500円は現金で支払った。

* (借) 売掛金	1,000	(貸) 売上	1,000
* 発送費	500	現金	500

* 商品売買（諸掛り）

* 相手負担の売上諸掛

* 今回の日商簿記検定3級で出題されたように、売上諸掛が得意先負担であった場合には、当店の費用ではないため、**立替金または売掛金に含めて処理します。**

* 商品1,000円を掛けて売上げ、得意先負担の発送費500円を現金で支払った。

* (借) 売掛金	1,000	(貸) 売上	1,000
* 立替金	500	現金	500

または

* (借) 売掛金	1,500	(貸) 売上	1,000
* 現金	500	現金	500

* 返品、値引、諸掛かりについてはトレーニングP19~22で確認！

* 商品売買 (諸掛り)

* 売掛金元帳

* 誰にいくら売掛金があるかを把握するための帳簿

* 買掛金元帳

* 誰にいくら買掛金があるかを把握するための帳簿

* 仕入元帳

* 仕入取引について内訳明細を記録しておく帳簿

* 売上元帳

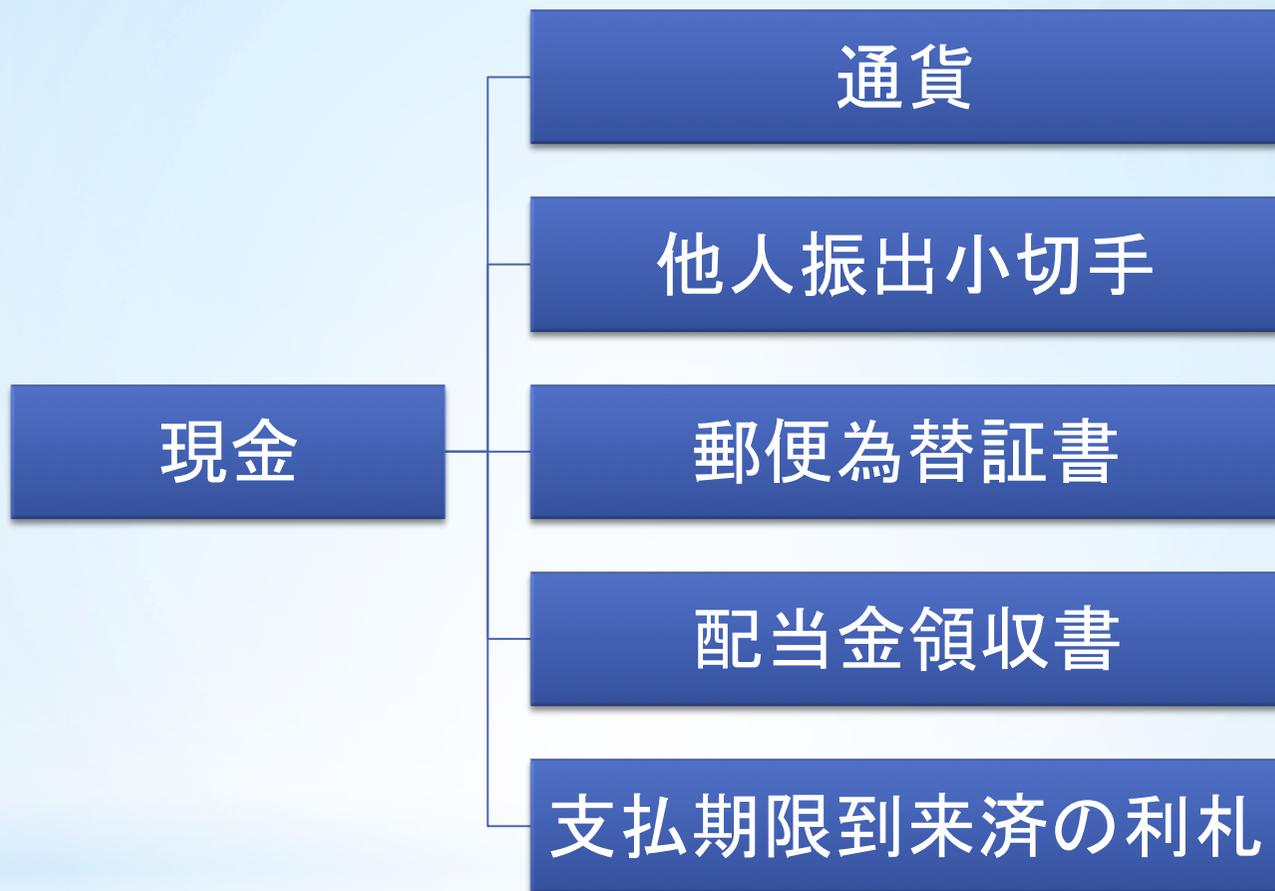
* 売上取引について内訳明細を記録しておく帳簿

* 商品有高帳

* 商品の数量と単価を把握するための帳簿

* 各帳簿については、テキストP48～54、トレーニングP22～29
で確認！

* 売掛金元帳、買掛金元帳
仕入元帳、売上元帳、商品有高帳



*現金、現金同等物

- * 売掛金の回収として、現金1,000円を受取った。
 - * (借) 現金 1,000 (貸) 売掛金 1,000
- * 商品5,000円を売上げ、代金として他人振出小切手を受け取った。
 - * (借) 現金 5,000 (貸) 売上 5,000
- * 相手払いの発送運賃1,200円を立替払いしておいたが、本日郵便為替証書が送付されてきた。
 - * (借) 現金 1,200 (貸) 立替金 1,200
- * 当社が所有する株式につき、配当金領収書3,000円を受取った。
 - * (借) 現金 3,000 (貸) 受取配当金 3,000
- * 支払期限が到来した利札を換金し、社債の利息2,000円を受取った。
 - * (借) 現金 2,000 (貸) 有価証券利息 2,000

* 現金、現金同等物

* 現金出納帳により帳簿の在 high が明確になると、実際在 high と一致しない場合がある。この時は、**現金過不足勘定**で処理します。

* 現金不足の発生（帳簿在 high > 実際在 high）と判明



* 帳簿在 high は800円であり、実際在 high は600円であった。

* (借) 現金過不足 200 (貸) 現金 200

* 上記の不一致の原因は、支払利息の記入漏れであった。

* (借) 支払利息 200 (貸) 現金過不足 200

*** 現金過不足**

* 現金過剰の発生（帳簿在高<実際在高）と判明



* 帳簿在高は800円であり、実際在高は900円であった。

* (借) 現金 100 (貸) 現金過不足 100

* 上記の不一致の原因は、受取家賃の記入漏れであった。

* (借) 現金過不足 100 (貸) 受取家賃 100

* 現金についてはトレーニングP32,33で確認！

* 現金過不足

* 小切手を使用して引出しが可能な預金で、**当座預金勘定で処理**します。

* 手数料を支払うために、小切手1,000円を振り出した。

* (借) 支払手数料 1,000 (貸) 当座預金 1,000

* 手数料として小切手2,000円を受け取り、ただちに当座預金とした。

* (借) 当座預金 2,000 (貸) 受取手数料 2,000

* 売掛金3,000円を以前自店が振り出した小切手で回収した。

* (借) 当座預金 3,000 (貸) 売掛金 3,000

* 当座預金

* 預金残高をこえて小切手を振り出したとき、その差額分を銀行が一時的に立て替えるシステムであり、このとき**当座借越勘定**を使用します。

* 手数料1,000円を支払うために小切手を振り出した。なお、預金残高は800円である。

* (借) 支払手数料	1,000	(貸) 当座預金	800
		当座借越	200

* 現金500円をただちに口座に入金した。

* (借) 当座借越	200	(貸) 現金	500
* 当座預金	300		

* 当座借越 (二勘定制)

*一勘定制では、当座預金の引出、受入、借越はすべて**当座勘定**で処理します。

*手数料1,000円を支払うために小切手を振り出した。なお、預金残高は800円である。

* (借) 支払手数料 1,000 (貸) 当座 1,000

*現金500円をただちに口座に入金した。

* (借) 当座 500 (貸) 現金 500

***当座預金については、トレーニングP34~37で確認!**

*** 当座借越 (一勘定制)**

*社債券の発行によって資金を借入れたときの、将来返さなければならぬ義務（借入金と同じ）。社債勘定で処理します。

- ① 発行時
- ② 社債利息支払時
- ③ 決算時
- ④ 満期（償還）時

*発行時

*×1年4月1日（期首）に社債額面1,000,000円（年利3%、利払日は9月末日と3月末日、償還期間5年）を額面@100円につき@95円で発行し、払込金額は当座預金とした。また、社債の発行に伴って発生した諸費用10,000円を現金で支払った。

* (借) 当座預金	950,000	(貸) 社債	950,000
* 社債発行費	10,000	現金	10,000

*社債

* 利息支払時

* ×1年9月30日に社債額面1,000,000円について利払日が到来したので利息を当座預金より支払った（年利3%）。

* (借) 社債利息 15,000 (貸) 当座預金 15,000

* 決算時

* ×2年3月31日（決算日）、上記社債につき、決算において必要な処理を行う。ただし、社債の額面金額と払込金額との差額は償還期間にわたって、償却原価法（定額法）によって社債の帳簿価額に加減する。また、社債発行費は社債の償還期間で月割償却（定額法）する。

* (借) 社債利息 15,000 (貸) 当座預金 15,000

* (借) 社債利息 10,000 (貸) 社債 10,000

* (借) 社債発行費償却 2,000 (貸) 社債発行費 2,000

* 社債

*満期（償還）時

* ×1年4月1日に発行した上記社債が満期日（×6年3月31日）をむかえたので、社債利息とともに当座預金より償還した。

* 利払（借）社債利息 15,000 （貸）当座預金 15,000

* 修正（借）社債利息 10,000 （貸）社債 10,000

* 償却（借）社債発行費償却 2,000 （貸）社債発行費 2,000

* 償還（借）社債 1,000,000 （貸）当座預金 1,000,000

↓あわせて

* （借）社債 990,000 （貸）当座預金 1,015,000

* 社債利息 25,000

* 社債発行費償却 2,000 社債発行費 2,000

*社債についてはテキストP76～80、トレーニングP45～49で確認！

*社債